

富山県入善町における ジャンボスイカ産地の 変遷と組織化

富山大学 人文学部 4年 広長 里菜

1

目次

- I はじめに
 - 1. 問題の所在と既存研究
 - 2. 対象地域概要
- II ジャンボスイカ産地の変遷
 - 1. 第一期(1883年～1971年)
 - 2. 第二期(1971年～)
- III ジャンボスイカ産地の生産構造
 - 1. ジャンボスイカの特性
 - 2. ジャンボスイカ生産組合
 - 3. 出荷体制
 - 4. 生産農家の経営事例
- IV 考察
- V おわりに

2

I はじめに 1. 問題の所在と研究目的

【高度経済成長期以降の農業地理学】

- 大産地との競争により後退した小規模な産地の存続可能について (荒木, 1993; 荒木, 2006)
- 農業をとらえる視点:
個々の農場という点的空間→組織からされた面的空間 (張, 1996)
- 北陸の農業は水稲単作から脱稲作を模索 (助重, 2015)

【研究目的】

農業空間の組織化の視点から
ジャンボスイカ産地の変遷を明らかにする

3

研究方法

ジャンボスイカ産地の変遷を整理

入善町史、黒部市史、JAみな穂や入善町役場作成の資料と
組合設立当初をよく知る人物への聞き取り調査

農業空間の組織化を捉える

生産農家と農協の担当者へ聞き取り調査
農家…現在の経営構造
農協…共販体制による出荷体制

4

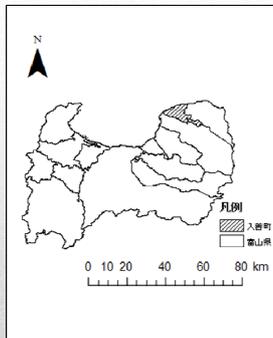
2. 対象地域概要

富山県入善町

- 面積 71.25km²
- 人口 25,712人(2016年1月末現在)
- 総農家数 1,437戸
(専業282戸, 兼業1,155戸)
(2010年農業センサスより)
- 耕地面積 3,850ha

全国的にも有数の低位な生産地帯

- 流水客土事業 (1951年～1961年)
- 圃場整備事業 (1962年～1976年)



第1図. 研究対象地

5

II ジャンボスイカ産地の変遷(1)

第一期: 導入・産地形成期

- 1887年 アメリカから優良品種を取り寄せ、試作
「ラトルスネーク」…長楕円形、大柄の縞、皮が厚い輸送
→「狹生西瓜」と命名、総曲輪で試売
- 1897年 入善町に導入「縞皮西瓜」と呼称
- 1909年 皇太子が来県し献上「黒部西瓜」に改名
- 1921年 作付面積 96ha 朝鮮やロシアにも輸出

日本屈指の大産地を形成

第二期: 個別農家の衰退期

- 1950年 太平洋戦争により80haに減少
- 1965年 大和スイカに市場を奪われ、8haに激減
 - 農家間の品質格差から評価を落とす
 - 小規模生産農家の多くが栽培をやめた

スイカ産地存続の危機

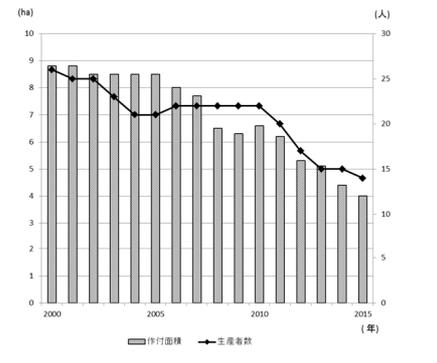
6

II ジャンボスイカ産地の変遷(2) 第三期(1971年～):産地の組織化

- 1971年10月「入善町黒部西瓜生産組合」設立、32戸の生産農家が団結
目的…各自の技術を公開し、品質の向上と均一化を図る
- 1975年頃より 優良品種の導入により生産が勢いづく
- 1983年 「ジャンボスイカ」「入善ジャンボスイカ生産組合」へ改名
- 1988年 入善町農協の一元集荷、個人販売から共販体制へ
- 1994年 販売高1億円を突破、作付面積18ha
- 2007年 現在の品種「入善ジャンボ」導入
地域団体商標に認定

ジャンボスイカ産地として復活?

7



第2図. ジャンボスイカの作付面積と生産者数の近年の推移 (JA提供資料により作成)

8

III ジャンボスイカ産地の生産構造 1. ジャンボスイカの特徴

- 大きな楕円形、長さ約40cm、直径約30cm、平均重量15~18kg
- 旬は7月下旬から8月上旬、収穫は8月中旬まで
- 自根で栽培されるため連作を避け、一度収穫した畑は10年間使用できない



第3図. さん儀の編み込み作業(筆者撮影)

第1表. ジャンボスイカの栽培カレンダー

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
スイカ				さん儀	有作り	畝作整備	定植	敷き藁	整枝	人工交配	摘果(下旬)	収穫	出荷
水稲													

9

(JA提供資料、聞き取り調査により作成)

2. ジャンボスイカ生産組合

- 生産農家14戸全てが加入
- 役職…組合長、副組合長、幹事

組合の1年間の活動

- 2月上旬 通常総会
- 2月中旬 施肥設計検討会
- 5月~7月 月に1回の頻度で圃場巡回
- 7月中旬 出荷検討会
- 下旬 西瓜盗難/バトロール出動式
ふるま市
- 10月 出荷反省会

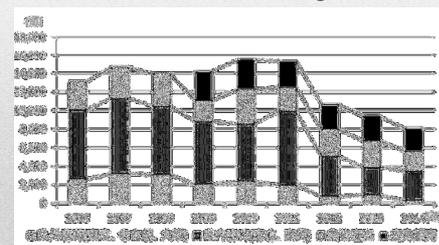
10

3. 出荷体制

- 収穫から出荷までの流れ

農家が収穫、さん儀を付けて梱包したものを農協職員がトラックで回って収集、出荷

- 出荷規格…糖度12以上、重量11kg以上



第4図. ジャンボスイカの出荷個数の推移

(JA提供資料により作成)

11

4. 生産農家の経営事例

第2表. ジャンボスイカ農家の経営構造

居住地区	栽培歴	配偶者	家族	我担量(件)	形態	労働力臨時	栽培作物	出荷(農協)	専任土地	後継
A 遊古	24	○	岡子(4)	1400	個人	1家族1~5	ス+米(2)	9貯1	貸借	×
B 小杉	20	○	別子(M)(M)(F)	200	個人	1家族1	ス+米+タマネギ +ジャガイモ+芋 トイモ	1貯9	自分	×
C 小杉	12	○	岡子(M)(F)	360	個人	1家族部落延<50	ス+米+桃	3貯7	貸借	△
D 東五十里	12	○	岡子(M)子の妻、孫 別居2	300	個人	2家族部落3	ス+米、野菜(10 品目)	9貯1	貸借	×
E 目川	10	○	別子(M)(M)	400	個人	1家族部落5~6	ス+米(兼薄)	6貯4	貸借	×
F 上野	5	○	岡母、別子 (M)(M)(M)	360	個人	1家族部落3	ス+米	5貯5	自分	×
G 青木	4	×	岡父、母	350	個人	1家族1	ス+米(兼薄)	8貯2	貸借	×
H 青木	26	○	岡父、子(M)(F) 別子(M)	1400	法人	7部落2	ス+米+大豆 +(+ハ)はぎ(+ハ) +パプリカ+麻	7貯2貯1(ネット)	貸借	○
I 蛇沢	10	○	別居母、父、母、 妹、妹	200	法人	8なし	ス+米+大豆 クサネゴ+ブ タネ+タネ	1貯9	貸借	○

(聞き取り調査により作成)

注1) 同は同居、別は別居

Mは男性、Fは女性を表す。

2) スはスイカ、米は水稲を表す。

12

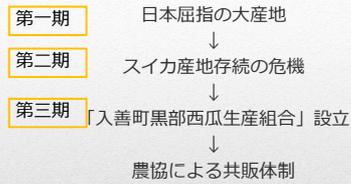
個別のインタビュー調査からわかること

- 後継者
個人農家 × (△) 法人農家○
- スイカ栽培
個人農家 – 生産増加させる農家も見られる
(減産する農家もある)
法人農家 – 米など他の作物にも力を入れる
→スイカ栽培の縮小

13

IV 考察

ジャンボスイカ産地の変遷



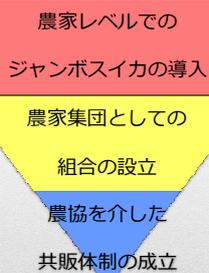
生産組合がもたらした効果

- 時代に合った品種改良による差別化
- 品質の向上と情報共有のための活動

農協がもたらした効果

- 共販体制による安定した市場への出荷

14



農場という点的空間からスイカ産地という面的空間へと組織化が形成

15

V おわりに

近年の衰退の要因

- 個人農家
…生産者の高齢化+後継者がいない
- 法人農家
…耕作放棄地の増加により生産量を増やせない

農協による新たな取り組み

- スイカ生産の担い手育成に向けた動き
- 加工品の開発

農協を主体とした地域をあげて産地を維持する取り組みが必要

16

【参考文献】

- 荒木一視1993. 和歌山県南部川村における梅生産・加工の展開. 経済地理学年報39(2): 59-77.
 荒木一視2006. 高度経済成長期以降における生鮮野菜産地の盛衰 – polarization概念の適用 –. 地理科学61(1): 1-21.
 龍瀬良明1981. 『黒部川扇状地』 大明堂.
 黒部市史編纂委員会 1988. 『黒部市史』 黒部市.
 黒部川扇状地地域社会研究所1986. 『黒部川扇状地研究』 古今書院.
 助重雄久2015. 「脱稲作」を目指す富山・石川の農業. 『地理』 60: 52-59. 古書院.
 張貴民1996. 埼玉県岡部町における野菜産地の形成とその持続的基盤. 地理学評論69: 223-241.
 入善町史編纂室1967. 『入善町史』 入善町.
 山本正三2000. 最近における農業・農村地域の変化に関する研究の一視点. 地理学評論73(3): 147-160.

【参考資料】

- JAみな穂ホームページ <http://www.ja-minaho.or.jp/> (2015年9月27日確認)
 入善町ホームページ <https://www.town.nyuzen.toyama.jp/index.html> (2016年1月11日確認)
 農林水産省ホームページ <http://www.maff.go.jp/index.html> (2016年1月11日確認)

17